

報道関係各位

2014年10月吉日

成蹊大学 2014年度 後期公開講座

第1回講座

『外^とつ国の言葉をわがものとして —阿蘭陀^{オランダつうじ}通詞の世界—』

開催のご案内

成蹊大学(東京都武蔵野市、学長:亀嶋庸一)では、2014年度後期公開講座を開催します。今回は統一テーマに「日本人と外国語」を掲げ、全5回の講座を展開します。第1回講座は、『外(と)つ国の言葉をわがものとして —阿蘭陀(オランダ)通詞(つうじ)の世界—』と題し、10月18(土)、本学6号館301教室にて開催します。

近代日本において、外国語は新しい世界への扉であるとともに、新たなディスコミュニケーションを生む壁でもありました。外国語との関わりは、日本人の心性にさまざまな憧憬とコンプレックスをもたらしましたが、その問題系は、歴史的にも遡り、今日的な緒現象にも及ぶのではないのでしょうか。グローバリゼーションが叫ばれ、英語が特権的な位置を占めつつある今日、あらためて日本人と外国語との関わりを問い直してみます。開催概要については、下記をご参照ください。

<開催概要>

テーマ: 『外(と)つ国の言葉をわがものとして —阿蘭陀(オランダ)通詞(つうじ)の世界—』
日時: 10月18日(土)10:30~12:30
講師: 片桐 一男(青山学院大学名誉教授 / 公益財団法人東洋文庫研究員)
講座概要: 江戸幕府が、キリスト教の厳禁、日蘭貿易の継続を決定したとき、必要にせまられたのが、阿蘭陀通詞(オランダつうじ)の養成でした。長崎の通詞たちが、いかにして外(と)つ国の言葉オランダ語をわがものとして貿易業務に挺身(ていしん)していったか、検証してみます。

会場: 成蹊大学6号館301教室
東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1
JR中央線・井の頭線「吉祥寺」駅より徒歩20分、または
吉祥寺駅北口①・②番バス乗り場から関東バスで約5分「成蹊学園前」下車

受講資格: どなたでもご参加いただけます

受講費用: 無料

定員: 290名(当日先着順)

その他: 講義内容・講師・会場につきましては、止むを得ず変更になる場合がございます。

公開講座に関するお問合せ先
成蹊大学 企画運営部企画運営課
公開講座運営事務局(担当:宇野)
Email: kikaku@jim.seikei.ac.jp
TEL: 0422-37-3535 FAX: 0422-37-3883

報道関係者からのお問合せ先
成蹊学園 企画室広報グループ
〒180-8633
東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1
Email: koho@jim.seikei.ac.jp
TEL: 0422-37-3517 FAX: 0422-37-3704